

4年「ちょっと待ってよ」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問いや話を入れ、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの 4 観点は、次のようになっていますが、ABCD によって書く観点数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	友達を分けて、向こうに追いやらない
導入	今日の学習は、第 26 回「ちょっと待ってよ」です。「20 のとびら」の 12 番「分け隔てをしない」です。「道徳みちあんない」では、○△？のどれを付けていますか
展開前段	○①の場面で、京一の態度を見て、正広は、どんなことを思ったでしょう ○②の場面で、京一と静花の態度を見て、正広は、どんなことを思ったでしょう
つなぎ発問①	○①の場面で、京一は、女子が長縄を跳ぶことを、どのように思っているのでしょうか ○②の場面で、京一と静花は、友治の突き指を心配しているようにも思えますが、二人は、友治が作業に入ることを、どのように思っているのでしょうか ○①の場面で、京一は、どのような声掛けをするのがよいのでしょうか。また、②の場面で、二人は、友治に、どのような態度を取るとよいのでしょうか
展開後段	誰に対しても分け隔てをしないとは、どういうことでしょうか
つなぎ発問②	誰に対してもというのは、男の子でも女の子でも、運動が得意な子でも得意ではない子でも、携帯電話をもっている子でもいない子でも、好きな子でも気に入らない子でも、ということです。そのことで分けていないかしっかりと考えましょう ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどうなことです

	・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、みんなと一緒にやってみたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、どんな自分になるとステキだなと思いますか では、振り返りを書きましょう
振り返り	